第39回香川県ソフトバレーボール大会
兼全国・四国大会予選安全対策ガイドライン

香川県ソフトバレーボール連盟

本大会に参加する全ての者は，各自で感染予防に努めることを原則としつつ，大会参加者の安全を保つため，次の事項を遵守することとする。

１．大会参加者（チーム・個人）の方へ

①　体育館に入場する際には，マスクを着用する（フェイスシールド可）。

②　試合中を除き，体育館内（特に，観客席）では，マスクを着用し，ソーシャルディスタンス（少なくとも，1メートル以上の間隔）を守る。

③　体育館に入場できるのは，原則として，大会に参加する選手及び監督のみとする。やむを得ず前記以外の者を同伴する場合には，「参加者名簿」に必ず記載する。

④　各チームから出たゴミは，会場のゴミ箱などに捨てず，必ず持ち帰る（ゴミ袋を必ず用意）。また，忘れ物（飲み物・衣類等）は，原則として本部で廃棄する）。

２．受付時（体育館の外側玄関で行う。）

①　チーム代表者は，「参加者名簿」を提出する。エントリー変更がある場合は，「エントリー変更届」とエントリー変更後の「参加者名簿」を提出する。

②　参加料は，釣銭のいらないよう準備し納付する。

③　体育館に入場する際には，必ず検温を受ける（当日，37.5℃以上の発熱のある者は，入場できない。）

３．開会式及び表彰式

①　開会式は，選手等が観客席に着席した状態で行う。

②　表彰式は，各種目の優勝・準優勝チームごとに未使用のコート等でソーシャルディスタンスを保ち行う。

４．試合中

⑴　チームに対し

①　試合開始前の握手は，キャプテントスも含めて行わない。選手はエンドラインに間隔を空けて整列し，審判員とともに全員で挨拶（礼）をする。

②　コート内の選手以外は，全員マスクを着用する。コート内の選手が個人的にマスク着用を求めた場合は，これを認める。

なお，コート内の相手チームの選手にマスク着用を要求できない。

③　マスク着用の選手は，試合途中でマスクを外したときには，マスクをしっかりと安全に管理する。

④　チームは，タイムアウト時も含めて２メートル程度の距離を持って話し，円陣は組まない。
⑤　大きな声での指示や声援，選手同士のハイタッチはしない。
⑥　スポーツドリンク，タオルなど持ち物は，各自接触しないように注意し，個人専用の袋に入れることが望ましい。
⑦　試合が終了したチームは，しっかりと除菌又は手洗い等を行い，次の試合又は審判に備える。

⑵　審判員に対して

①　審判時は，マスク又はフェイスシールドを着用する。
②　原則として，電子ホイッスルを使用する。ハンドシグナルは，電子ホイッスルを持ったままで行うこととする。
③　試合終了後にはしっかりと手洗いを行う。
④　主審は，選手に明らかな安全対策ガイドライン（感染対策）に違反する行為があれば，ゲームキャプテンに注意することができる。
⑤　線審は，フラッグシグナルを行う。試合終了後，本部において「旗」の消毒を行うので、試合球とともに本部に返却する。
⑥　試合開始ごとに本部において新たな「試合結果記録用紙」を用意する。
⑦　試合球及び記録板等は，試合終了ごとに本部において消毒する。

５．大会終了後

①　チームは，ミーティングや懇親会等では，３密を避け，会話時には，マスクを着用するなど感染対策に努める。
②　大会終了後，２週間以内に感染が疑われる症状が発生した場合は，速やかに理事長に連絡する。